特定非営利活動法人　スペース･ほっと

令和5年度（14期）　総 会

2023/6/吉日

会員各位

特定非営利活動法人スペース・ほっと
理事長　小山内正信

NPO法人スペース・ほっと　総会

本年も当法人の活動にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございます。
この度の令和5年度総会の開催につきましては、感染症の取り扱い状況に変化が
御座いましたが、県内福祉法人等の総会の開催方法などを参考に、今年度も引き続き
電磁的・書面での総会開催とさせて頂きたいと思いま
今年度の理事におかれましては、改選の年度となりましたので、議案にて掲示させて
頂きます。また、会員様におかれましては、総会の開催を行わない代わりに、事業所で
月１～２回行っているご利用者の食事会の機会に、ご一緒にご参加して頂ければと
考えております。支援の日常から見て頂くことで、より実際の運営や関わり方を見て
頂く機会が持てるかと思っております。

記

日時　令和5年6月15日（木曜日）　17時00分～
場所　スペース・ほっと　1階
横須賀市船越町１丁目５７番地

総会次第

開会　理事長挨拶

1. 定足数確認
2. 議長選出　理事長
3. 議事録署名人の指名　２名選出　議長・署名人の告知
4. 議案
   第１号議案　令和5年度役員（改選）
   第２号議案　令和4年度事業報告
   第３号議案　令和4年会計報告
   第４号議案　令和5年度事業計画（案）
   第５号議案　令和5年度活動予算（案）
   第６号議案　令和4年度会計監査報告（別紙）

5. 議長・書記解任　理事長　総会実行委員の告知

閉会

第1号議案

役員について

当法人定款に記載されている、理事・監事の定員に関して、本年度改選となりますので、理事会で行われまた理事の改選について、以下にて開示させて頂き、総会にて承認を頂けましたら、今年度の体制として運営に努めて参ります。

今年度総会において議長、議事録署名人の選出を理事会同様、以下の者で開催を致します。

議長	小山内　正信氏	
議事録署名人	渡邉　明氏	穂積　大志氏

役員

理事	定員　3名以上7名以下	任期　2年（次期役員選任まで）
	再任　可能　選任方法　　総会で選任	
理事長	理事から互選　1名　理事長はこの法人を代表しその業務を総理する	
副理事長	理事から互選　1名以上	
監事	定員　1名以上2名以下	任期　2年（次期役員選任まで）

令和5年度の運営体制

前年度

令和 4 年度　役員体制

理事長	小山内　正信
副理事	渡邊　明
副理事	飛田　有里子
理事	沼崎　真奈美
理事	川名　洋亮
理事	清水　大志
監事	小川　広子

本年度

令和 5 年度　役員体制

理事長	小山内　正信
副理事	渡邊　明
副理事	飛田　有里子
理事	沼崎　真奈美
理事	川名　洋亮
理事	穂積　大志
監事	小川　広子

第2号議案

令和4年度事業報告

事業の成果	令和4年度の全般的な運営については、感染症の影響が出たことで、事業収入が例年に比べ、減少してしまった。 利用者の増減については大きな変動はなかったが、感染症発生の時期を期に、利用者の制限等を一時的に行ったことで、利用者の通常の生活を取り戻すまでに時間を要したことが今回の収入減となった理由であると考えています。 その中で、年明け後からの利用者の新規受け入れと、通常利用者の回復等が見られてきて、例年通りの平均利用者数に戻ってきております。 今後は販売へ注力していき、新たな販路を開拓していくこととが課題として行きたいと考えています。 新規利用者については、継続して受入れをして行きたいと思うが、定員数についても数値の管理をして行きたいと思います。
教育・研修機関としての役割	職員の資格取得へ積極的に支援し、各連携機関のオンライン研修へ参加。 他看護学校の実習生受け入れも行いました。 利用者との関り方のルールを共有（事業所研修）
相談支援	利用者本人ならびに、ご家族からの相談に対応をしております。 当事者からの個別相談には随時対応を行い、安心・安全な生活を送れるよう支援を行います。
地域との繋がり	コロナ感染症対策として、事業所からの積極的なイベントへの参加は控えております。 また、ご利用者の心のケアも今年度は考え、屋外で安全なスペースがあるのであれば、屋外の活動を人数などを考えながら行いたいと思います。 あくまでも状況を踏まえた考えとしておりますので、他リフレッシュ方法なども踏まえ考えて参ります。

第3号議案

活　動　計　算　書

［税込］（単位：円）

特定非営利活動法人スペース・ほっと　　自 令和4年 4月 1日　至 令和5年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費		16, 800	
【受取助成金等】			
受取補助金		421, 744	
【事業収益】			
訓練給付費収益	29, 634, 123		
就労支援事業収益（生花）	2, 154, 577		
就労支援事業収益（食品）	823, 558	32, 612, 258	
【その他収益】			
受取　利息	73		
雑　収　益	37, 500		
食事代収益	97, 500	135, 073	
経常収益　計			33, 185, 875
【経常費用】			
【事業費】			
（人件費）			
給料　手当(事業)	17, 384, 809		
法定福利費(事業)	2, 709, 953		
福利厚生費(事業)	89, 248		
人件費計	20, 184, 010		
（その他経費）			
売上　原価	3, 592, 159		
会　議　費(事業)	24, 477		
旅費交通費(事業)	1, 199, 590		
車　両　費(事業)	930, 725		
通信運搬費(事業)	361, 556		
消耗品　費(事業)	632, 205		
水道光熱費(事業)	896, 559		
地代　家賃(事業)	4, 377, 450		
賃　借　料(事業)	456, 074		
減価償却費(事業)	476, 580		
保　険　料(事業)	575, 170		
諸　会　費(事業)	150, 900		
租税　公課(事業)	500		
研　修　費	29, 600		
支払手数料(事業)	203, 048		
支払報酬（事業）	1, 091, 220		
食材費	209, 153		
その他経費計	15, 206, 966		
事業費　計		35, 390, 976	
【管理費】			
（人件費）			
人件費計	0		
（その他経費）			
消耗品　費	39, 109		
広告宣伝費	30, 360		
接待交際費	66, 864		
保　険　料	2, 320		
諸　会　費	17, 600		
支払手数料	22, 968		
支払　利息	1, 662		
その他経費計	180, 883		
管理費　計		180, 883	
経常費用　計			35, 571, 859
当期経常増減額			△ 2, 385, 984
【経常外収益】			
経常外収益　計			0
【経常外費用】			
経常外費用　計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 2, 385, 984
当期正味財産増減額			△ 2, 385, 984
前期繰越正味財産額			14, 323, 302
次期繰越正味財産額			11, 937, 318

第4号議案

令和5年度事業計画（案）

1　事業活動方針

今年度の支援作業も、自主製品を主体とし、作業を提供して参ります。
感染症の影響など、思わぬことが起こった際の対応策は、昨年度の事例を元に予防と感染者が出た際の対応を、スムーズに行っていくことで、最小限の影響に止めるようにして行きたいと考えています。

本年の2月に横須賀市の監査が行われました。特に重要な指摘はされることもありませんでした。
指導監査で運営上重要とされる箇所については、事業所運営方針と記録類の整理などが挙げられ、
今後も徹底したルール通りの運営に努めて行きたいと考えています。
販売に対しての課題意識を職員に強く持ってもらえるようにして行きたいと思いますが、
現状から改善を図れない場合は、作業の

2　事業内容

当法人は、社会活動への参加と一人ひとりの課題解決を目標に、働く環境を整え、仕事に対する能力や意欲などを高めることを方針に掲げます。
また、働く仲間との協調性、コミュニケーションが保てるように就労に必要な知識を身に着けます。

他、以下に掲げる特定非営利活動を行います。
・保健、医療及び、福祉の増進を図る活動

（１）　特定非営利活動法人　スペース・ほっとの行う事業

①　障害者福祉施設を運営する事業

ア　障害者福祉事業所「スペース・ほっと」の運営事業

・内容　　就労継続支援B型サービスを提供する施設「スペース・ほっと」
ならびに「Hana-Funa」の運営

②　障害者ならびに、障害者の家族からの相談を受け、生活を支援する事業

ア 地域の障がい者の社会生活を広く支援する。

・内容　　面接または電話により、相談を受けてアドバイスを行う。
また、事業所として考えられる支援を、相談される方に応じ対応する。

通年
神奈川県横須賀市船越町1丁目57番地
神奈川県横須賀市上町3丁目9番
6名　　内非常勤2名
精神・知的障がい者　20名

第4号議案　2

令和5年度事業計画（案）

3　　事業計画（案）

■　①事業所運営と支援体制

運営体制は、既存の通りで行って参ります。

職員体制としては、常勤4名非常勤2名での体制で、今年度を運営します。

前年度の平均利用者数は、約17名で終えております。

今年度の予定としては、18名平均で推移出来るように、受入れと利用者の定着を目指して行きます。

■　事業運営の課題

運営主体は、事業収入費が重要な運営資金となっています。

その為、給付単位が大きな影響を及ぼす為、工賃額の向上は重要な課題と考えています。

平均工賃額が多いと、給付単位が優遇される為でありますが、運営費よりも支援の質を下げてしまうことは、私ども法人の考えとは相反してしまいますので、バランスよく運営を行うように努めて行きたいと思います。

支援の質を理由として、事業所を利用されたいと思う方が多くなることが、私どもの考える本当の運営と支援であります。

■　提供作業報告

グロサリー商品については、コロナ禍で売り上げの減少がありましたが、工賃については、前年度を出来るだけ推移できるように、今年も運営費からの補填を致しました。

コーヒー商品の作業については、販売も安定してきたことで、作業の提供時間も長くなったように感じています。

またギフト商品として販売数を伸ばして、工賃額を向上させて行きたいと考えています。

生花については、店舗での販売実績は少しづつ上がってきております。

繁忙期以外にも店舗販売もあり、地域で福祉事業としての生花店が浸透してきた感じを受けております。生花店の店先では少しですが、事業所で作成した菓子の販売を行っています。

このスタイルでの作業提供が、利用者のスタンダードとなっており、利用者の様子からもこちらは、今年度も継続して行っていきたいと思います。

第5号議案

令和5年度活動予算（案）

収入		令和5年度	
	会費・入会金収入等	26,400	
	食事収入	50,000	
	雑収入	200,000	
	自立支援事業収入	37,000,000	現状定員数で、減算されない受け取り給付金額
	営業外収入	100,000	
	収入計	**37,376,400**	
給与			
	給与手当	22,000,000	給与・賞与共に事業所努力で向上していきたい。（処遇改善等以外）
	賞与	2,500,000	
	法定福利費	2,900,000	
	福利厚生費	220,000	
	給与計	27,620,000	
経費			
	研修費	150,000	スキルアップの為、職員の希望を優先する
	接待交際費	100,000	前年度経費からの推定値
	旅費交通費	800,000	
	通信運搬費	290,000	
	消耗品費	400,000	
	光熱水料費	800,000	
	諸会費	40,000	
	支払手数料	90,000	
	借地・借家費	4,119,800	
	損害保険料	509,710	
	租税公課	15,000	
	食材費	50,000	利用者への食材費（事業所主催の送別会等）
	車両費	250,000	1台分の車両の支払い残金（概算）
	支払報酬料	980,000	
	研究開発費	200,000	新規商品の開発（優先して行いたい）
	広告宣伝費	100,000	上記の付随する経費
	経費合計	8,894,510	
	経常利益	861,890	

工賃関連			
	生花事業売上	2,800,000	作業商品の売上額
	食品事業売上	2,100,000	
	計	4,900,000	
	食品原材料費	500,000	
	花仕入れ	2,200,000	
	計	2,700,000	
	支払い可能工賃	2,200,000	月当たり全体180,000円

第６号議案

監査報告書

特定非営利活動法人スペース・ほっと
理事長　小山内　正信　様

特定非営利活動法人スペース・ほっと
監事　　小川　広子

私は、令和4年4月1日から 令和5年3月31日までの特定非営利活動法人 スペース・ほっとの業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。
監査の方法は、理事会への出席、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて行いました。
監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、令和3年度の法人の財産の状況は適正なものと認められます。

以 上

署名

令和 5 年 5 月 26 日

監事　小川広子　㊞

別添

令和4年度製菓報告

□　材料について

材料についてですが、市場価格の高騰の影響を受けており、菓子作業で使用する材料、特に卵や小麦粉の価格が大きく値上がりしました。
今年に入り、砂糖の価格も上がってきております。
また、珈琲豆の価格も、原油価格の高騰の影響もあり、値上がり傾向です。

日々の菓子作業に必要不可欠な材料の為、出来るだけ無駄を省き、効率的な方法で菓子製造を行なえるように支援して参ります。
また、菓子作成のスキルアップを目指し、材料取り扱い時の人為的なミスのないように進めて行きたいと考えます。

珈琲豆に関しては、10キロ単位で購入しておりますが、選別した上で使用出来る豆は全体の75％程度でした。
選別作業を3回、4回と繰り返す事で、現在は85％～90％使用出来ており、廃棄率削減となりました。
今後は、選別の効率化を図る為、作業のレベルアップを図って参りたいと考えております。

□　販売・売上

売上増加にはなりませんでした。
要因としては、感染症予防もあり、サポートセンター様等での外部での販売を控えていた事もあります。
利用者様にも、販売を経験してもらう機会が減ってしまった事、大変申し訳なく思っています。

直接的な販売の機会が減少しましたが、オンラインでの販売は継続しておりますので、お客様の購買意欲の湧くような、新規商品の開発にも力を注いで参ります。

また、ふるさと納税の返礼品を視野に入れながら、例えばオーガニックの珈琲豆など、少し価格帯が高価な商品も考えて行きたいと思っております。
今年度は、販売の機会が増えると思いますが、感染症には気を緩める事なく十分な対策を講じた上で、少しずつ利用者様にも参加して頂ければと思っております。

今現在で考えられる改善策となります。今後は、より一層職員間のコミュニケーションを図り問題点をそのままにせず、議論を重ねていくことが、大切な事だと考えております。

今後も様々な方からのご意見を頂く事、ご協力に感謝しながら、日々努力を重ねて参ります。

別添

令和4年度生花実績報告

□　実績報告

今年度生花事業収支　　売上は2,152,496円、前年度では2,129,411円　+23,000円

仕入れ費は1,765,627円、前年度は1,862,490円と約-100,000抑えることができました。今年度は大きな増加にはなりませんでしたが無事に終えることが出来ました。

委託販売では生花繁忙期に天気、気温の影響もありましたが仏花を主に納品をしており、売上が低迷しておりましたが後期から花束（ブーケ）を入れることにより徐々に売上が上がってきました。

仏花の需要が減ってきているのも確かですが他コンビニ様に入荷されている生花を見ると仏花束のみを納品している店舗が多く、差別化できたところも売上に繋がっていると思っています。店頭販売では増加傾向でした。

インターネットでのFacebookやインスタグラムなどでPOP、動画での宣伝活動や店頭でのイベント行い、花に纏わるイベントの際には割引サービスや早期予約割引行い、売上増加となりました。

早期に花束の予約を取ることにより、ご利用者にも花束の作成時間を取ることができ良い成功体験になったと感じております。またコロナウィルスも収束傾向であったため、来店するお客様が増えたことも売上増加に繋がったと感じております。

今年度の新規取引先の獲得には繋がっておりません。

□　今後の展開

目標にしていたサブスクリプションの運用や宅配サービスを使った生花の配達も考えていましたが、問題点が多く運用には至っておりません。新規取引の獲得や他サービスも引き続き検討しつつ行って参りたいと思います。

引き続き工賃の向上を目指していき、御利用者様に適正な工賃をお渡しできるように頑張って参ります。